

一般質問

ローカルベンチャーの推進について  
更なる相乗効果を！

**高橋議員** 創業や移住の相談など、これらの事業をミックスして効率の良いものにするのがローカルベンチャー推進事業。これを成功させるには、いくつかの条件をクリアすべし。そこで、市民のニーズや新たに展開する業種の絞り込みなどマーケットのニーズに応じた展開が必要だと思いが、見解を伺う。また、七尾市にはいろんなメニューが整備されているが、それを組み合わせて更なる相乗効果を生み出す場合、これを一元的に運営する組織が必要である。どういった枠組みで、どのような計画をもって望むのか見解を伺う。

**不嶋市長** 新規創業者が増えることで既存企業を圧迫する意見もあり、スタートアップ事業の補助対象から事業の絞り込みをした。とはいえ、開業は自由であり、基本的には創業をしっかりとってもらうことで、市内の経済が活性化することにもつながり、補助金とは別に、創業のサポート体制などもしっかりと機能させていきたい。また、ローカルベンチャー推進事業の組織的なところは、七尾街づくりセンターに喝を入れる意味で、創業応援カルテットと連携して、しっかりと事業展開していきたい。そこに専門家を公募し、事務局体制もしっかりとっていく。市も連携しながら事業がしっかりと七尾に根付くよう、成果を上げていきたい。



高橋 正浩 議員 (礎)



事務局が入る予定のしるべ蔵

- 【その他の質問項目】
- ふるさと納税
- 交流人口の拡大
- 公立高校入試倍率と小中学校の学び

一般質問

福祉避難所をより拡充せよ！

**山添議員** ①二次避難の支援ビジョンとして、高齢者や障害者が適切な避難所に誘導されるのか。②福祉避難所は、要配慮者10人に対して生活相談員1人と書かれているが、有事の際の人的配慮は十分なのか。③現在、21カ所の福祉避難所が指定されているが、地区でいうと9地区しかなく、福祉避難所の役割を考えるとであれば、少ない。増やす予定はないのか。

**白田市民生活部長** ①高齢者などの要配慮者は、まず一般の方と同様に指定避難所に避難し、その後、指定避難所において住民で組織する要配慮者班によって、どの福祉避難所に行くのが適当か見極めて誘導する。要配慮者班には、地域の民生委員や医療・福祉関係者、看護資格のある方、介護従事者などで組織することが望ましいため、地域づくり協議会の防災部会や福祉部会などで会員を選定しておくことが大事。②福祉避難所には、施設の生活相談員が基本的にいて問題ないと考えているが、万が一、被災して相談員が不足した場合、県の応援協定を締結している市町へ要請する。③開設時の受入スペースや人員配置、ベッドなどの確保を含めて協力いただける施設を福祉避難所に指定している。今後は、小さな福祉施設にも協力をお願いしながら、福祉避難所の確保に努める。



山添 和良 議員 (市民クラブ)



市内の福祉避難所

避難所について

【その他の質問項目】

- 家庭こみ
- 能登島保育園
- 生活困窮者の自立支援
- タクシーと連携した徘徊者見守り
- 新教育長の教育ビジョン

一般質問

外環状線整備事業について  
外環状線の接続を早く！

**木下議員** 万行土地区画整理事業の万行サンタウンを横断している4車線道路に国道159号線と160号線を接続する事業について、当初の事業計画から随分、経過している。地元から、たびたび要望が出ていた事業で、なかなか前に進まない状況であった。昨年の市民と議会との懇談会において、万行サンタウンの区画の売却が進まないのは、この道路が未接続であるからで、2車線でもいいから早く接続してほしいと、強く要望もあつた。今回、都市計画道路の測量調査、実施計画費の計上により、地元の方々の開通に向けての期待も膨らんでいると思う。多くの事業費も予想されるわけだが、完成の目算も含め、外環状線整備事業の詳細について伺う。

**不嶋市長** 万行土地区画整理事業の中で、4車線分の0.9kmが既に出ており、西側の国道159号線までの2.1kmを石川県に、東側の160号線に繋がる部分までの1.3kmは七尾市で道路を繋げるということで、平成29年度から石川県と連携を図りながら測量設計を行う段取りである。地元の用地などへの協力と理解なども含めて、早期着工と着実な完成に向けて取り組んでいきたい。



木下 敬夫 議員 (礎)



万行土地区画整理事業の道路

- 【その他の質問項目】
- 新たな産業の創出と雇用
- 七尾港の振興策